

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 26 年 11 月 13 日（木）（19：00～20：20）		
実施場所	まちなす（本町 3 丁目）	参加人数	8 人
参加対象	特定非営利活動法人にぎわい		
懇談内容	<p>【1. 発言者】 ピーナツカボチャ、サツマイモなど地場産のものを授産施設である『なごみの家』で加工し材料に変えて、お菓子店で使えるか検討している。このような仕組みを市から応援してもらいたい。</p> <p>【市 長】 勿論このような趣旨は応援する。</p> <p>【2. 発言者】 高校生のイベントで「青春フェスタ」を行うが、高校生のメッセージをアーケードに貼っている。夢、十日町のいいところ、大人への一言、を十日町高校、松代高校、松之山分校、定時制の生徒が一人 3 枚書いている。市役所の方にも街中を回って見てもらいたい。このほかにもイベントが 4 会場で行われる。ぜひ見に来てほしい。</p> <p>【市 長】 商店街に人を誘導できるいい企画だ。高校生は良い感性をもっている。</p> <p>【3. 発言者】 ハロウィンパーティの実施では、37 店舗から協力協賛いただいた。今年は 500 人くらい参加者がいたと思う。来年は土曜日で絶好の日なので規模大きくしたい。是非継続した支援の仕組みをつくってもらいたい。</p> <p>【市 長】 「NPO にぎわい」と相談してほしい。市ではできないことが NPO でできる。NPO や地域自治組織を上手く利用してもらいたい。ハロウィンパーティはまだまだ大きくなっていくのではないか。</p> <p>【4. 発言者】 田倉の跡地は、今どんな状況か。</p> <p>【市 長】 前のご意見をいただくことがあったが今はない。手応えあるので、成功してほしい。</p> <p>【5. 発言者】 妻有ポークが売れているが都心での知名度が低い。伝える努力がまだまだ足りない。</p> <p>【市 長】</p>		

「大地の芸術祭」もそうだった。今は市民の知名度も8割程度までできているのでは。どんなにしつこく言っても言い過ぎることはない。

【6. 発言者】

「大地の芸術祭」は、芸術系の大学生には9割程度の知名度だが、県外、ごく一般的な人達にはまだまだ知名度が低い。

【市長】

芸術祭は、3年に1度行われるイベント程度にしか認識されていないと感ずることがある。町中、里中の色々なところに作品があり、住民が人とのふれあいで元気になっているという良さが伝わっていない。これからも県外・市外にアピールしていかなければならない。